

科目名	精神看護 I (情緒発達と精神看護の基本)				DP1 DP3	看護高等課程			
学年	1年	分野	専門 精神看護	時間数	30時間	担当 教員	中村 玲奈 (12)、宮本 剛(12) 武田 玲子 (6)		
科目概要	精神看護の基本となる人間理解を目的として、人格の発達過程、人の心理・行動の特性を理解する。また、自己のメンタルヘルスへの関心を持ち、健康な生き方とは何かについて考える。精神保健上の問題が生活と生き方に与える影響を理解し、基本的な関わり方を学ぶ。								
到達目標	1. こころの健康の捉え方、影響する要因について理解できる。 2. こころの健康の現状とこころの健康の維持増進について理解できる。 3. 精神看護の目的と役割について理解できる。								
回数	単元項目		授業内容			形態	担当教員		
1~6	心の健康と発達		心の健康とは何か、脳の発達、遺伝と環境 発達段階の課題（乳児期、幼児期、学童期、青年期、成人期、老年期）			講義	中村		
	心の働きと危機		心の不健康と危機状態（心の健康状態、危機状況と危機介入）、自我と防衛機制（防衛機制とは、防衛機制の種類） ストレスの心身への影響（ストレス、心的外傷後ストレス障害） 人間関係と心の健康、環境と心の健康（家族関係、学校、職場、地域社会） ライフサイクルにおける心の危機						
	精神看護の捉え方		精神障害及び医療・看護の拡大、精神看護技術の多様化、精神看護・精神科看護の理念、トータル・ケア・システムの発展					講義	宮本
	精神保健福祉の変遷		精神医療の歴史、我が国の精神保健福祉の歴史						
精神保健福祉対策		精神保健福祉の捉え方（精神保健、社会復帰と地域精神医療、地域精神リハビリテーション、精神福祉）							
精神保健福祉の資源と施策		精神保健福祉に関わる施設、精神保健福祉施策							
13~15	災害と精神看護		精神障害者に対する災害看護			講義	武田		
	看護職者のストレスマネジメント		感情労働としての看護、エモーショナルリテラシー（感情を理解し使いこなす能力）、ストレスマネジメントの方法			講義 演習			
	試験		ゆとり時間			試験			
評価基準	中村（40点）・宮本（40点）・武田（20点）の計100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。								
評価方法	出席状況と講義への参加態度、筆記試験などで総合的に評価する。								
教科書	看護学入門 13 精神看護 その他、必要時に資料を配布する。								
履修上の注意									